



## 2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月13日

上場会社名 株式会社ホクリヨウ

上場取引所 東

コード番号 1384 URL <http://www.hokuryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米山 大介

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画部長 (氏名) 進藤 正紀

TEL 011-812-1131

四半期報告書提出予定日 2018年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	6,350		221		256		191	
2018年3月期第2四半期								

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 215百万円 ( %) 2018年3月期第2四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	22.70	
2018年3月期第2四半期		

(注) 当社は前連結会計年度(2018年3月期)より決算日を8月31日から3月31日に変更しております。これに伴い、2018年3月期第2四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年3月期第2四半期の前年同四半期増減率及び2018年3月期第2四半期の連結経営成績(累計)については記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	14,573	8,960	61.5
2018年3月期	14,963	8,871	59.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 8,960百万円 2018年3月期 8,871百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		15.00	15.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,620		553		614		449		53.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2018年3月期は、決算期変更に伴い7ヶ月(2017年9月1日から2018年3月31日)決算となっております。このため、通期の対前期増減率については記載していません。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期2Q	8,459,000 株	2018年3月期	8,459,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2019年3月期2Q	株	2018年3月期	株
------------	---	----------	---

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期2Q	8,459,000 株	2018年3月期2Q	8,459,000 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社は前連結会計年度（2018年3月期）より決算日を8月31日から3月31日に変更しております。これにより前連結会計年度は2017年9月1日から2018年3月31日までの7ヶ月決算となっております。

これに伴い、2018年3月期第2四半期連結財務諸表を作成していないため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益の拡大や雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復を続けております。しかしながら一方で、米国などの保護主義的な通商政策の動向や、地政学的リスクなど、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。更に、9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震の影響により、道内全域にわたる停電による生産活動の低下や道内観光のキャンセルが相次ぎ今後の道内経済の動向を注視していく必要があります。

鶏卵業界におきましては、昨年秋頃から鶏卵相場が前年比下振れで推移する状況になり、当第2四半期連結累計期間（2018年4月1日～2018年9月30日）における鶏卵相場の北海道Mサイズ平均は1キロ175円86銭（前年同期間比28円02銭安）、東京Mサイズ平均は1キロ173円08銭（同27円74銭安）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は6,350,019千円、営業利益は221,361千円、経常利益は256,482千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は191,980千円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業は報告セグメントを単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末に比べて389,810千円減少し14,573,614千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べて236,343千円減少し4,893,333千円となりました。これは、主として法人税等の支払により現金及び預金が116,939千円減少したこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べて153,466千円減少し9,680,281千円となりました。これは、主として有形固定資産その他が519,647千円増加、畜肉販売等の食品事業をエスフーズ北海道株式会社へ承継したこと及び減価償却等により建物及び構築物が401,926千円、機械装置及び運搬具が201,508千円、土地が195,636千円減少したこと等によるものです。

## ②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べて478,872千円減少し5,613,449千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べて192,640千円減少し3,599,437千円となりました。これは、主として短期借入金700,000千円増加、支払手形及び買掛金が108,516千円、未払法人税等が190,805千円、エスフーズ北海道株式会社からの譲渡代金の振替等により流動負債その他が541,848千円減少したこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べて286,231千円減少し2,014,012千円となりました。これは、主として借入返済により長期借入金223,747千円減少したこと等によるものです。

## ③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末に比べて89,062千円増加し8,960,164千円となりました。

これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益191,980千円を計上したこと等によるものです。

④キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、116,939千円減少し、3,018,588千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、88,967千円の収入となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益298,891千円の計上、減価償却費440,593千円等による資金の増加が、仕入債務の減少108,296千円、法人税等の支払額325,478千円等による資金の減少を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、543,153千円の支出となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出506,683千円、差入保証金の差入による支出21,416千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、337,245千円の収入となりました。これは主として短期借入金の純増減額700,000千円等による資金の増加が、長期借入金の返済による支出223,437千円及び配当金の支払額126,885千円等による資金の減少を上回ったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月11日の「2018年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,135,528	3,018,588
受取手形及び売掛金	1,682,958	1,431,677
商品及び製品	102,803	83,209
仕掛品	13,649	15,807
原材料及び貯蔵品	121,436	111,671
その他	76,672	234,384
貸倒引当金	△3,371	△2,006
流動資産合計	5,129,677	4,893,333
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,097,978	5,696,051
機械装置及び運搬具(純額)	1,531,375	1,329,867
土地	1,293,533	1,097,897
その他(純額)	114,894	634,541
有形固定資産合計	9,037,781	8,758,358
無形固定資産	56,478	45,907
投資その他の資産		
投資有価証券	510,666	547,679
その他	233,572	333,336
貸倒引当金	△4,751	△4,999
投資その他の資産合計	739,487	876,016
固定資産合計	9,833,747	9,680,281
資産合計	14,963,424	14,573,614
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,027,257	918,740
電子記録債務	214,386	214,605
短期借入金	130,000	830,000
1年内返済予定の長期借入金	443,874	444,184
未払法人税等	351,922	161,117
賞与引当金	116,000	96,000
役員賞与引当金	32,000	—
その他	1,476,638	934,789
流動負債合計	3,792,078	3,599,437
固定負債		
長期借入金	1,984,395	1,760,648
退職給付に係る負債	151,561	113,640
役員退職慰労引当金	82,330	72,950
その他	81,957	66,773
固定負債合計	2,300,243	2,014,012
負債合計	6,092,322	5,613,449

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,055,000	1,055,000
資本剰余金	754,215	754,215
利益剰余金	6,924,294	6,989,389
株主資本合計	8,733,509	8,798,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137,593	161,560
その他の包括利益累計額合計	137,593	161,560
純資産合計	8,871,102	8,960,164
負債純資産合計	14,963,424	14,573,614

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	6,350,019
売上原価	5,299,202
売上総利益	1,050,817
販売費及び一般管理費	829,455
営業利益	221,361
営業外収益	
受取利息	13
受取配当金	5,275
仕入割引	9,408
受取賃貸料	19,494
その他	12,001
営業外収益合計	46,192
営業外費用	
支払利息	3,488
賃貸費用	7,510
その他	73
営業外費用合計	11,072
経常利益	256,482
特別利益	
事業譲渡益	87,193
特別利益合計	87,193
特別損失	
固定資産除却損	255
災害による損失	44,528
特別損失合計	44,783
税金等調整前四半期純利益	298,891
法人税、住民税及び事業税	106,911
法人税等合計	106,911
四半期純利益	191,980
親会社株主に帰属する四半期純利益	191,980



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	191,980
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	23,966
その他の包括利益合計	23,966
四半期包括利益	215,947
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	215,947

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自 2018年4月1日  
 至 2018年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	298,891
減価償却費	440,593
のれん償却額	7,475
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3,258
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△9,380
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,509
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,117
受取利息及び受取配当金	△5,288
支払利息	3,488
固定資産除却損	255
事業譲渡損益 (△は益)	△87,193
災害損失	44,528
売上債権の増減額 (△は増加)	251,280
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△23,970
仕入債務の増減額 (△は減少)	△108,296
その他	△364,628
小計	412,889
利息及び配当金の受取額	5,288
利息の支払額	△3,731
法人税等の支払額	△325,478
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,967
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△506,683
無形固定資産の取得による支出	△2,741
投資有価証券の取得による支出	△2,573
差入保証金の差入による支出	△21,416
その他	△9,738
投資活動によるキャッシュ・フロー	△543,153
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	700,000
長期借入金の返済による支出	△223,437
リース債務の返済による支出	△12,432
配当金の支払額	△126,885
財務活動によるキャッシュ・フロー	337,245
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△116,939
現金及び現金同等物の期首残高	3,135,528
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,018,588

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

当社グループは、「鶏卵事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（報告セグメントの変更等に関する事項）

前連結会計年度において、当社グループは「鶏卵事業」と「食品事業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より「鶏卵事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、「食品事業」を吸収分割の方法によりエスフーズ北海道株式会社へ承継したことによるものです。

この変更により、当第2四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。